

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 9 1 号
件 名	学校給食の無償化を求めることについて
要 旨	<p>私たちは昨年10月に学校給食無償化を実現する新潟市民の会を立ち上げ、学校給食無償化を望む多くの市民の声を集めてきました。僅か8か月余りで3万2,911筆の署名が集まり、学校給食は子供の成長にとって大事なもの、子育てにお金がかかり過ぎる、給食費が無償になったら本当にありがたい、若い世代が長く住みつき活気ある新潟市にしてほしいなど、切実な市民の声を聞いてきました。そんな中、学校給食の無償化や軽減に踏み出す地方自治体が増え、文部科学省の全国調査では、全国の3割の自治体で完全無償化が実施され、一部補助などを含めると4割を超える自治体で何らかの給食費の援助に取り組まれています。新潟県内でも完全無償化が4市町村、一部無償化が7市町村に広がっています。</p> <p>長引く物価高騰が私たちの暮らしを直撃しています。特に、ここ米どころ新潟でも米不足、新米の価格高騰など、米さえも買えないと悲痛な声が上がっています。この新米価格上昇のため、中学校のスクールランチは1年の間に2度の値上げ、1食325円、1か月20食分で6,500円にもなります。1年前より年間で1人6,000円の値上げは、子育て世代の家計をさらに圧迫しています。学校給食費を無償にすることは、今すぐにでもできる子育てへの直接支援だと考えます。全ての子供が健やかに発育、発達できるように保障することが今求められています。憲法第26条で義務教育は無償と定めています。一刻も早く憲法の理念どおり、学校給食は無償にするべきと考えます。</p> <p style="text-align: right;">(次頁につづく)</p>
付 託 年月日 委員会	令和6年12月12日 文教経済常任委員会
受 理	令和6年11月25日 第415号

陳情第 91 号

	<p>学校給食は食育という教育の一環であり、心と体を育てるために欠かすことのできないものです。子供たちが安全に安心して食べられる給食の果たす役割は、今後ますます重要になっていくものと思われます。子育て世代の経済的負担を軽減し、未来を担う子供たちの心身ともに健やかな成長の権利のために、小・中学校の給食費を無償にすることを求め、陳情いたします。</p>
--	---